

東日本大震災から 4 年

伝えたいあの日… そして希望

未曾有の災害といわれた“東日本大震災”から 4 年の月日が流れようとしています。今なお、多くの方が盛岡市内でも避難生活を送っていらっしゃいます。

しかし、立ち止まり過去を偲んでいるばかりでは復興は望めません。これを機会に、あの日を胸に刻み、復興の未来へと目を向けてみませんか。

- 日時：3月21日（土）
13時30分～15時15分頃
- 会場：盛岡市西部公民館 3階 大会議室
- 内容
 - 第一部 映画「加奈子(仮) —マイホームタウン」の上映
 - 第二部 映画製作者“オトナ映画部”の皆さんによるトークショー
- 参加方法：当日直接会場にて受け付け
- 費用：無料



<映画のご紹介>

岩手沿岸部に生まれ育った主人公の加奈子は、父との仲がうまくいかず東京で暮らしていた。あの震災で古里は被災。3年を経て帰郷を決心する。

最初は馴染めずにいたが、故郷の風景や家族、被災地の人々に触れながら、自分の居場所を見つけていく。

<オトナ映画部のご紹介>

2009年に盛岡市の会社員や公務員、主婦ら20人で結成。映画づくりを行っており、本作品が6作目の映画となる。

当日は、大槌町から NPO 法人“まちづくりぐるっとおおつち”の方に来ていただき、町の特産品や手作りの工芸品を販売いたします。その町のものを買うことは、私たちにできる被災地支援の一つです。ぜひお手に取ってご覧ください。

